

テーマ

地域に根ざした「ふるさと教育」の実践

目標

大村市と協働し、本校のスローガンである「働きながら学ぶ」のもと、4年間の継続した学習の中で、ふるさとの現状を理解し、魅力や課題を把握し、ふるさとに貢献できる人材の育成に取り組む。

育成したい 資質・能力

地域の未来を担うリーダーシップの育成

地域に貢献する力の育成

ふるさとへの敬愛と誇りの育成

地域課題発見力の育成

長崎県立大村高等学校定時制（普通科 1年、2年、3年、4年 生徒数34名）

ふるさと教育連携協議会

全職員（校内委員：校長、教頭、教務主任、進路指導主事、生徒指導主事、各学年担任）

<主な取組>

- 地域調査
 - (1) 地元企業でのアルバイト等を通して地域産業の特性を理解
 - (2) ふるさと大村の地理・歴史を学ぶ
- 研究課題の設定
 - (1) フィールドワーク等を通じた調査結果を検討、分析
 - (2) 地元企業のことを知る
- 地域課題解決の研究
 - (1) 地域見学の実施
 - (2) 地元企業による講演会の実施
- 研究成果の発表
 - (1) 成果発表の実施（もみじ祭での発表）
 - (2) 成果内容を生徒会誌に載せる

成果指標

評価 (Check)

- (1) 将来ふるさとの発展に貢献したいという意識が高まった生徒の割合
- (2) ふるさとに誇りを持ち、生徒の県内就職希望者の割合
- (3) ふるさと教育を行った職員の割合

外部連携機関
(行政機関)

- 長崎県産業労働部若者定着課
- 大村市役所産業振興部・文化財課

外部連携機関
(地元団体)

- ETA
- 大村商工会議所
- 大村高校同窓会
- 大村ロータリークラブ

連携・協働

連携・協働

繋がる

保護者・地域住民